

世田谷介護ネットニュース

第23号

発行日：平成23年4月27日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

連絡先：東京都世田谷区成城6-3-10

電話：(03)5429-3100

東日本大震災と介護サービス事業者の防災対策

平成23年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は、巨大な津波をともしない、東北地方の太平洋岸を中心に甚大な被害をもたらしました。被災なさった皆さま、ご家族の皆さま、関係者の方々に心よりお悔やみを申し上げます。また、世田谷区の介護施設や介護サービス事業所で働いている職員の中にもご家族や友人などが被災した方々がいると聞き及んでおります。悲しみを分かち合い、被災地の一刻も早い復興を願ってやみません。

さて、今回の震災の規模と被害の範囲の広さについては人知を超えたものがありました。ある程度大きな地震に遭うことは予想できたとしても、心の中では「自分が生きている間に遭遇しないだろう」という淡い期待があったのではないのでしょうか。私自身、屋外の車イス介助中に地震に遭いましたが、瞬間的に「しまった」と思いました。事前に準備できることをしてなかったこともあります。自分自身の心構えの浅さを突かれた思いでした。次の瞬間には、すぐそばの家の3階まで2本の亀裂が走り、外壁タイルがバラバラと落下してきました。揺れが収まったとき、この地震

の中心が東京であることを祈りましたが、祈りは通じませんでした。

今回の地震を教訓にするのは被害の大きさからたいへん心が痛みますが、介護サービス事業者として次の

地震の備えをする必要を感じます。記憶が薄れる前に、災害対策小委員会を開催し、世田谷区介護サービスネットワークとして会員各位の知恵を集め、今後の備えを行って参りたいと存じます。会員事業所に所属していれば小委員会への参加は自由です。総会後の早い時期に公募をいたしますので、多くの方に参加していただき世田谷区の介護事業者として実効のある災害対策を行って参りたいと存じます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

世田谷区介護サービスネットワーク代表
辻本きく夫



平成22年度 第4回、第5回通所連絡会定例会報告

通所連絡会では、平成23年2月15日(火曜日)に成城ホール4階E集会室において第4回通所連絡会定例会を開催しました。タイトルは『利用者さんの必要とする通所事業所内のリハビリ』。講師は成城リハビリテーションクリニック長谷川幹先生です。世田谷区内の通所系事業所の職員を対象とし、今回は特に『機能訓練に力を入れたい！介護職員のための機能訓練およびリハビリ講座』というテーマで、実に参加者63名大勢の参加を得て盛況でした。

先生が実際治療なさっている患者さんや利用者さんがどのような経過で“主体性”をご自分で持たれるのか、積極的に社会活動に参加されていく様子や、医療的側面など、長谷川先生のユーモア溢れるわかりやすい説明で、予定時間を大幅に延長するほどの熱気でした。また参加者アンケートの意見も大変好評で、次年度も是非開催をとの声も

多かったです。

3月15日(火曜日)は第5回定例会を成城ホールCD会議室で開催しました。東日本大震災後の開催で緊急テーマとして震災の対応として実際各デイの事業所で行っている震災対策や防災訓練など、各事業所・世田谷区・介護サービスネットワークで作成した資料を元に意見交換しました。

今回は新規の事業者さんが多く参加されています。さらに次年度も会員や区内事業所にとって魅力ある有意義な研修、講義を開催していきたいと思っております。世田谷区介護サービスネットワークにまだ入会されていない事業所の方は事務局の世田谷区福祉人材育成・研修センターまでご連絡をお願いします。

せたがや通所連絡会代表
千山の里デイサービス 高橋常樹

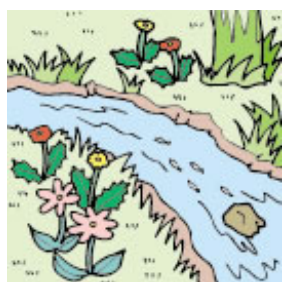
連載 薬局からこんにちは(6)

～薬局成城ファーマシー祖師谷店 橋本孝子

大地震の影響が続く中、被災地の方に十分な医療が提供されていない現状が報じられています。インスリン注射など医薬品の不足もそのひとつです。今回はこのインスリン注射についてお話ししたいと思います。

インスリン注射は、インスリンの分泌が不足している場合に体の外から不足分を補い、血糖値を下げる治療法です。

インスリンは膵臓から出されるホルモンで、血液中のブドウ糖を細胞の中に取りこみ、エネルギーとして利用できるようにしたり、脂肪や筋肉などに蓄える働きもっています。この働きにより血糖値を適正範囲内にコントロールしています。



糖尿病は、インスリンの量や働きが不十分なために血糖値が高くなる病気です。1型と2型の2つのタイプに大きく分けられます。

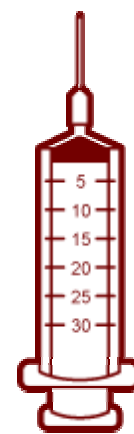
1型糖尿病は、膵臓のβ細胞が壊れてしまい、インスリンが分泌

されなくなってしまう病態です。体内でインスリンを全く、又はほとんど作り出すことができないため、インスリン注射が絶対に必要です。

2型は肥満、運動不足、ストレスなどをきっかけに発病します。インスリンの効果が出にくくなったり、分泌のタイミングが悪化することが原因です。まずは食事療法と、運動療法で血糖をコントロールすることから始めます。食事、運動療法に加えて飲み薬を使用しても十分に血糖がコントロールできない場合にインスリン注射が必要になります。

どの濃度のインスリンをいつ、どのくらい注射するかは、患者さんの病態やライフスタイルにあわせて決められます。

被災地への十分な医薬品の供給や医療体制の確保、ライフラインの復旧が一刻も早く行われ、元通りの安心した生活が送れるよう願っています。



24時間巡回・随時訪問サービス(4)

【随時訪問における転倒介助】～ジャパンケアサービス 24時間随時訪問介護員 開ノ内 梨恵

要介護3 性別：男性 年齢：83歳

世帯状況：家族同居(妻・娘)

疾患：脳梗塞(左片麻痺)

サービス利用期間：8ヶ月

夜間対応型訪問介護は、転倒時・排泄介助補助・体調不良時等でヘルパーの訪問が必要な時に事務所へ連絡して頂き、随時訪問させて頂くサービスです。ご利用者が必要な時に訪問する事でご本人様やご家族様が安心して在宅生活を送れるように支援しています。

夜間対応型訪問介護は夜間(22時～7時)のみの対応ですが、世田谷区は日中(7時～22時)の料金補助

を受けることが出来るため、夜間・日中の24時間対応できる体制が整っています。

今回は事例としてA様の転倒介助の様子を紹介します。



A様は認知症の奥様と娘様との3人暮らしです。娘様より「玄関の前で転んでしまいました。私では起き上がらせる事が出来ませんでした。来ていただけますか。」との訪問要請があり、訪問しました。

訪問時、娘様は玄関を開けてA様の様子を見ておられ、A様は玄関扉横の庭に寝そべてお待ちでした。外から家に入ろうとして転倒されたとの事で、庭の植木で切った傷が右腕と左肘にあり、出血されておりました。怪我の処置について娘様へ確認すると「父が気になるなら後で絆創膏を貼ります。」との事で、弊社での処置は施しませんでした。その後一度玄関の椅子に座って頂き、少し落ち着いた後、ご自身で歩いて食卓の椅子に座って頂きました。汚れた服を交換し、タオルで体を綺麗に拭いた後、飲み物を飲みながら休まれております。

「まさか外で転ぶとは思わなかった。」「娘や妻じゃ助けられないから来てくれて助かったよ。ありがとう。」とご本人様より感謝のお言葉を頂くことが出来ました。

世田谷区からのお知らせ

東京都主任介護支援専門員研修受講申込み及び提出について

受講申込みには、区市町村の推薦が必要です。

世田谷区では、推薦にあたって、申込みの際に東京都の定める書類のほか、世田谷区の推薦要領にある書類の提出が必要となります。詳細は、東京都の通知が到着次第、世田谷区のHPに掲載（4月末掲載予定）しますのでご確認ください。申込締切5月20日（金）午後5時（予定）

【問合せ】 介護保険課事業者支援担当 TEL：5432-2884 FAX：5432-3042

主任・中堅ケアマネジャー民間研修受講助成

平成23年度も、主任・中堅の介護支援専門員の方がさらに資質の向上を図り、より質の高いケアマネジメントへつなげるための支援として、民間が開催する介護支援専門員の職務に関連する研修の受講料の一部を助成します。

【助成金額】 受講料の10分の9（100円未満の端数切捨て・上限3万円）

【対象となる介護支援専門員及び研修の要件】世田谷区のホームページをご覧ください。

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/d00022687.html>

【受付】 世田谷区福祉人材育成・研修センター

【問合せ】 介護保険課事業者支援担当 TEL：5432-2884 FAX：5432-3042

明日から役立つヘルパー研修報告～ADL体操～日常生活を体操にしよう

平成22年度研修グループ最後の研修は、2月17日成城ホール集会室にて、お仕事帰りのお疲れのところデイサービスの職員さんや、ヘルパーさんなど、53名の方の参加で行いました。

今回はアンケートでも人気が高い、“佐野公美子先生”の明日から役立つ体操です。

日常生活動作、たとえば、障子の開け閉めの動作や、入浴時の洗身の動作、又はタオルを使ってのボール投げなどで普段、動かさない筋肉を呼び起こしながら、楽しい掛け声や、掛け声の代わりに歌いながら運動したり、また、佐野先生の経験に基づいた楽しい話術であったというものの、1時間40分でした。



「生活をしている中で自然に動かしている筋肉・表情・手足を利用する声かけ、指導を学ばせていただいた」「日常生活を回想させながら、それを運動に取り入れた体の動きはわかりやすかった」などアンケートからの声がありました。

最後にサプライズとして、シンガーソングライターのKana Latteさんが参加 元気な応援ソング“Happy & Peace”の曲に合わせてダンシングしました。参加していただいた皆様からも、ちょうど疲れが出そうなときに楽しい時間が出来てよかったとの声がありました。

23年度もアンケートに基づき企画しています。皆様のご参加お待ちしております。

研修グループ代表 宮川 英子

研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの年間予定】

*日付の入っていないものは開催予定月。かっこ内はテーマです。詳しい情報は後日ファックスまたは郵便でお知らせします。また、ホームページでも最新情報を発信しますのでご覧ください。

<http://www.setagayaj.or.jp/kaigo/>

1) 総会

日時：平成 23 年 5 月 17 日（火）19:00～20:30

場所：成城ホール集会室 C・D

議事：平成 22 年度活動報告及び決算
平成 23 年度事業計画及び予算
新運営委員及び監事の選任

その他：総会終了後に名刺交換会を行います。

2) 明日から役立つヘルパー研修

平成 23 年 7 月 25 日（月）「古武術」

平成 24 年 2 月「介護技術」

3) スポット研修

平成 23 年 6 月 23 日「ADL 体操」

平成 23 年 8 月「高次脳機能障害」

平成 23 年 11 月「高次脳機能障害」

平成 24 年 1 月「高次脳機能障害」

4) 通所連絡会

平成 23 年 6 月 21 日「定例会」

平成 23 年 9 月 13 日「定例会」

平成 23 年 12 月「定例会」

平成 24 年 2 月「定例会」

平成 24 年 3 月「定例会」

5) 在宅介護経営部会

平成 23 年 7 月「労務管理」

平成 23 年 11 月「介護保険制度改正の影響」



平成 24 年 3 月「事業所間連携」

6) 全体会

平成 24 年 3 月

7) 全体会・研修グループ合同講演会

平成 23 年 10 月

会場：成城ホール

【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修】

1) 接遇研修

平成 23 年 6 月 2 日（木）13:30-17:00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

2) 介護技術スキルアップ研修

平成 23 年 6 月 13 日（月）13:00-17:00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

3) ケアマネリーダー研修（前 5 日間）

平成 23 年 6 月 17 日（金）14:00-17:00

会場：世田谷区区民会館集会室

4) サービス提供責任者研修（基礎）

平成 23 年 6 月 21 日（火）9:30-15:30

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

5) 認知症ケアの基礎知識研修（新任向け）

平成 23 年 6 月 22 日（水）9:30-12:00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

6) 認知症ケア研修（基礎 1）

平成 23 年 6 月 27 日（月）14:00-17:00

会場：成城ホール

印の問い合わせ先は

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話：5429-3100

会員事業所の研修、イベントの情報を掲載します。ネットニュースは、隔月奇数月に発行します。希望者は、事前に事務局にお問い合わせください。ただし、掲載できるのは非営利の研修、講演会、イベント等に限ります。

部会幹事の募集

世田谷区介護サービスネットワークの各部会では、活動の企画運営を行う幹事を募集しています。ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

研修グループ：研修の企画運営を行う楽しくて勉強になる活動です。

通所連絡会：通所事業所に特化した研修などを企画運営します。

訪問介護連絡会：サービス提供責任者を対象とする研修などを企画運営します。

在宅介護経営部会：経営者または管理者を対象とした事業運営等の学習会などを企画運営します。

編集担当から

東日本大震災の被害に遭った皆さまにお悔やみを申し上げます。介護事業所もかなり被害に遭ったようです。これを機に防災対策について考えましょう。

今年度は運営委員改選の年です。まだ数名の枠があります。年度途中でも参加可能ですのでご応募ください。

今年度も定期的にネットニュースを発行します。編集にご興味のある方は広報小委員会にご参加ください。会員であれば誰でも参加できます。



問い合わせ先

世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話:03(5429)3100、FAX:03(5429)3101